

大学自己評価部会だより

第67号 (令和2年1月)

カリキュラム・ポリシー

大学院歯学研究科では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。デュプロマ・ポリシーとは、学位授与の判断のための基本的な考え方として、育成する人材が身につけるべき能力を示したものです。

博士課程のデュプロマ・ポリシー

- (1) 生命科学に関する幅広い知識を習得し、自らが主体的に研究を遂行できる総合的能力が備わっていること
- (2) 高度専門的医療人として、クリティカルシンキング能力を有し、臨床の場で先駆的医療の発展に貢献する能力が備わっていること
- (3) 歯学教育に関する多面的な知識と専門的知識を併せ持ち、歯学界をリードする能力が備わっていること
- (4) 学際領域の学問分野を礎に地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること
- (5) 海外の研究者との積極的な情報交換を行い、国際社会へ研究成果を発信できる能力が備わっていること
- (6) 生涯にわたり研鑽し、口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力が備わっていること
- (7) 国内外の大学において研究者として活躍できる能力が備わっていること

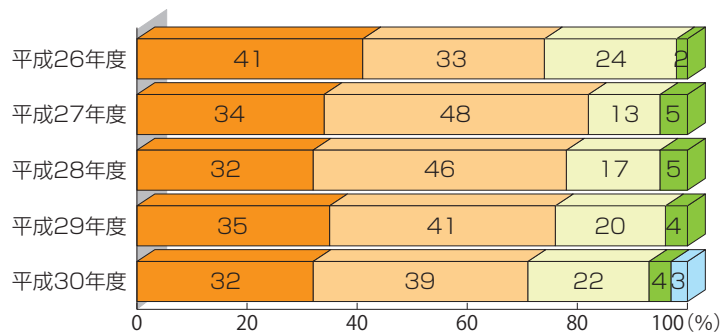
アンケート調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成26～30年度の5年間を比較しました。

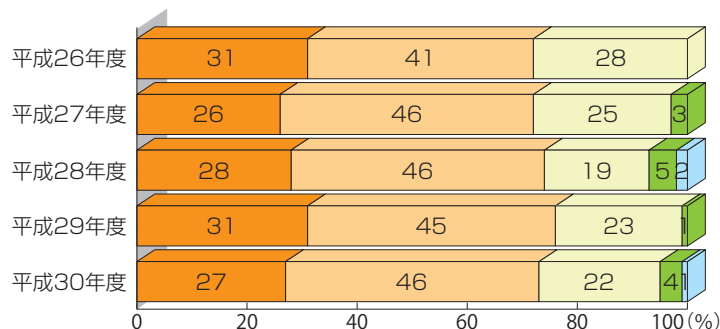
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では毎年講義内容の見直しを行い講義・実習の充実を図っており、70%以上の学生は「高い」「少し高い」満足度を感じています。

主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度



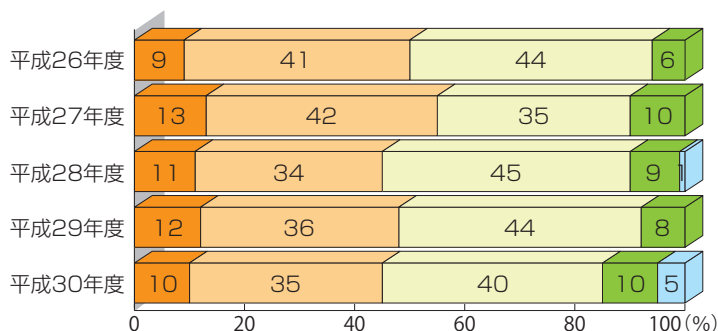
■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

② 授業要綱や学習相談などについて

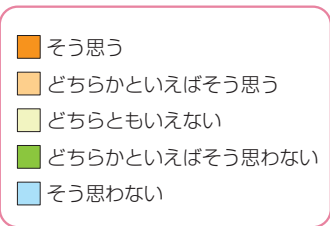
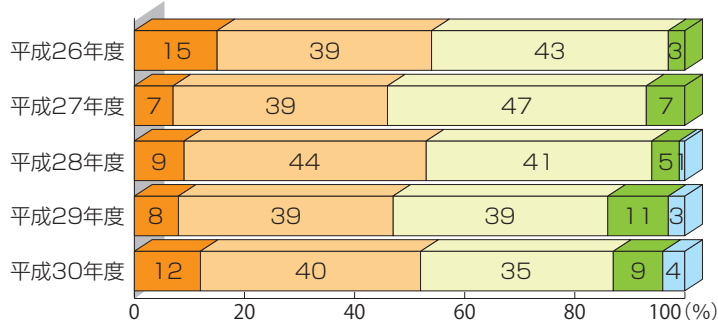
大学院生が大学に求めるものは個々に異なりますが、大学院のカリキュラム・ポリシーの周知とともに、指導する学生にとって相談や意見交換しやすい環境を整えましょう。学生目線で分かりやすい授業要綱となるよう毎年の見直しを心がけてください。



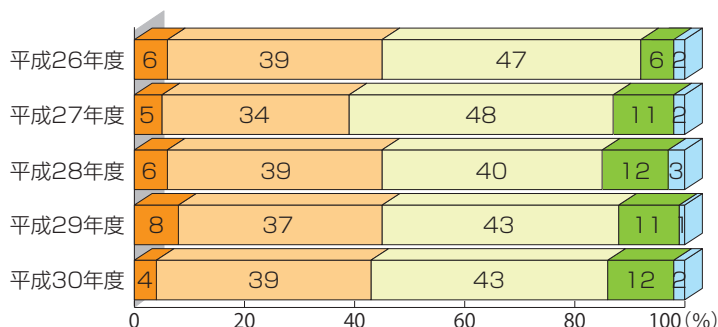
授業要綱は
分かりやすいですか



学習相談や助言などは
適切に行われていると
思いますか



大学は皆さんの
学習面でのニーズを
適切に把握しているか
と思いますか

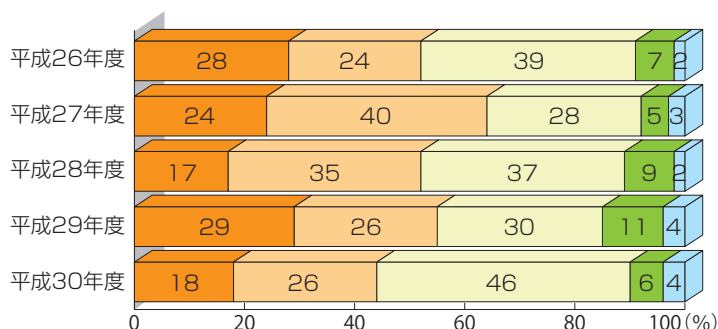


③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対して満足度が低い・少し低い学生の割合は昨年より減少しましたが、満足度の高い学生の割合が一昨年のレベルまで漸減しました。指導教員の先生方は、この結果に留意して大学院生との密なコミュニケーションを心がけてください。



現在の研究指導に
満足していますか



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は kikaku@kyu-dent.ac.jp へお願いいたします。